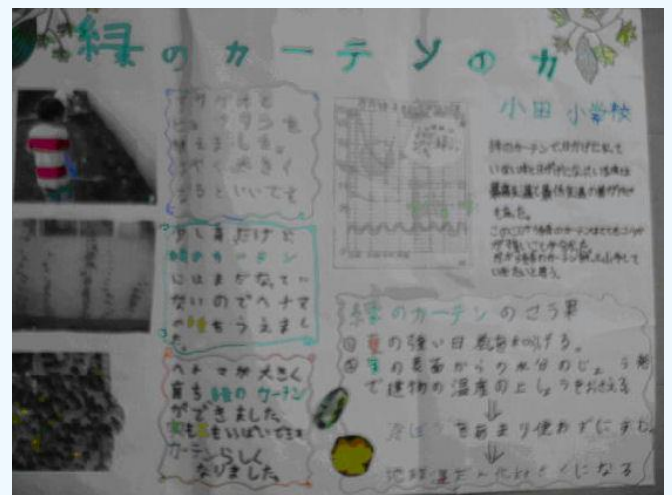
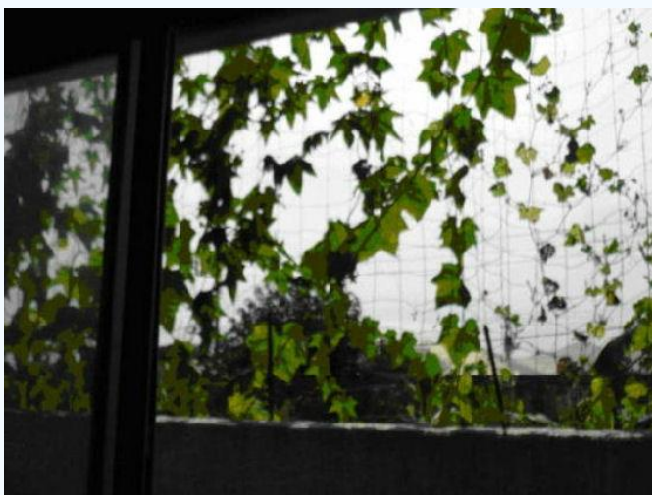


テーマ：『 自然の事物・現象を体感することを通して、環境に目をむけ、自然を愛する心情を育む 』

横浜市立 小田小学校

Tel. 045(775)3011 担当者： 村上 裕子



■ 実践内容:

小田小学校では、環境委員会が中心となり、屋上等に設置されているソーラーパネルの活用や G30 も含めたごみの分別等の環境を意識した取組を呼びかけている。また、「エコライフチェックシート」を夏休みに全校に配布し、省エネ活動を学校だけでなく、各家庭の協力を得て行った。これらの成果を、パシフィコ横浜会議センターで行われた「CITYNET 横浜大会 ポストアワリー公開フォーラム」にて発表した。

また、4 年生は、金沢区の緑のカーテン事業に参加し、緑のカーテンづくりと緑のカーテン設置による教室内外の温度変化を赤外線温度計で計測した。その温度の違いから地球温暖化防止対策の一環としての緑のカーテン設置が効果的であることを体感し、「緑のカーテンの力」としてまとめ、区民活動センターで発表した。

■ 実践成果:

環境教育助成としていただいた費用で、いままで竹で覆われていた校舎側面の土壌改良を行い、さらに基礎コンクリートを打設し、花壇を設置することができた。これにより、いままでプランターで育てていたヘチマ等が土植えでき、しっかりとした緑のカーテンが育った。温度差の計測もより大きな結果をもたらすことができた。

■ 実践ポイント:

子どもが実際に環境にかかわるときには、目で見たり、体で感じたりして、まず実感を伴うことが大切であると考えている。わかりにくいことについては、得点制にして計算したり、数字をグラフ化したりしている。また、実際の生活の場でも継続して実践することも必要なので、常に環境を意識できるように働きかけている。